

# 春日台だより 第20号

令和6年7月19日  
綾瀬市立春日台中学校  
校長 吉田 勉

## ～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ からだ 精神と身体<sup>こころ からだ</sup>の健康な人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

7月の終業式での校長先生のお話を掲載します。

### 「目的」と「目標」

皆さん、お早うございます。

きょうで1学期が終了します。そして、明日からは夏休みを迎えます。夏休みを迎えるにあたって、私からは「目的」と「目標」について話をしたいと思います。



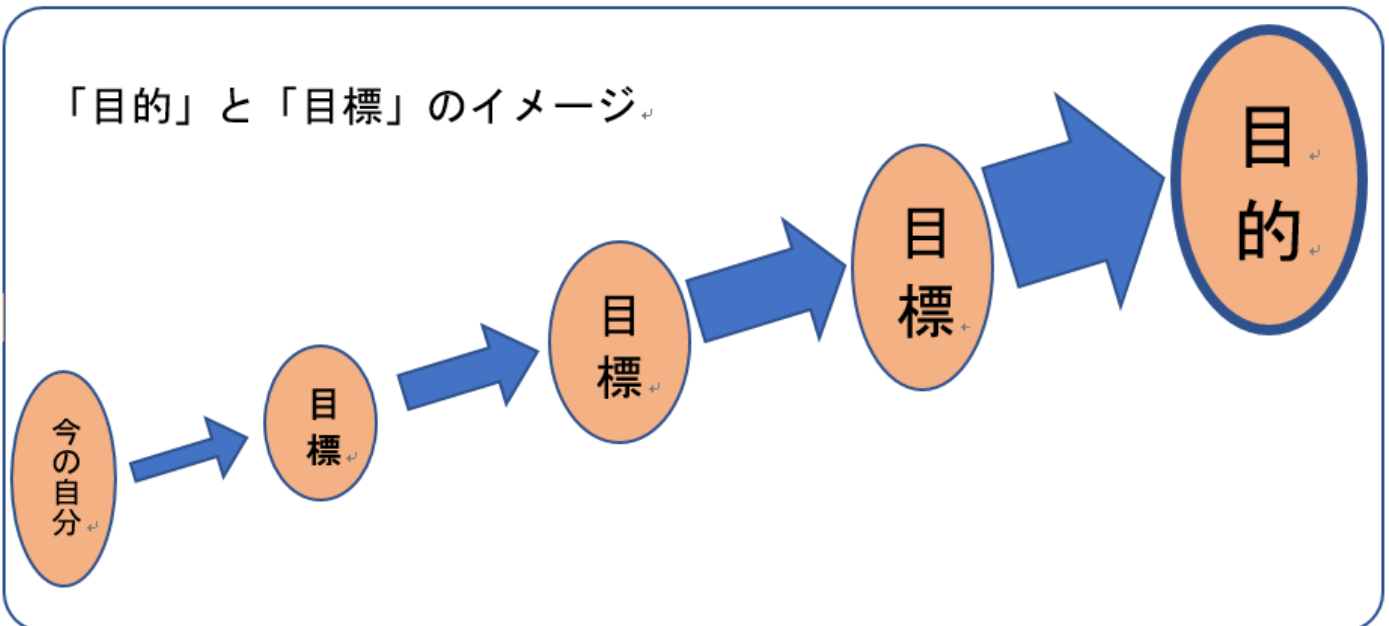
皆さんは、「目的」と「目標」の違いについて説明できますか？「目的」と「目標」ということばの違いについて、きちんと理解して使い分けている人は少ないのではないかと、私は思っています。

それでは、先ず「目的」ということばについて考えていきましょう。「目的」とは、簡単に説明すると「ゴール」という意味になります。今、自分が取り組んでいたり、活動したりしていることの、最終的に到達したいことは何なのかを指します。

では、「目標」とはどういうものなのでしょうか。目標とは、「目的」「ゴール」に近づいていくために必要な、途中の「めあて」となるものです。

つまり、「目的」というゴールがあって、それに到達するまでの過程に立てられるものが「目標」ということです。

### 「目的」と「目標」のイメージ



例えば、自分は将来どのような仕事に就きたいのかを考え、「学校の先生になる」ことを、これからの自分の「目的」に設定したとしましょう。

では、「学校の先生になる」という「目的」を実現するまでの間には、何が必要でしょうか。

すると、「教員免許を取得できる大学に進学する」という「目標」が設定されます。その「目標」を達成するためには、「大学入試に合格する」という「目標」がさらに設定されるはずです。

「大学入試に合格する」という「目標」を達成するためには、その前に「高校へ進学して、大学入試に備える」という「目標」が設定されます。

そして、自分が志望する高校へ合格するためには、さらに具体的な「目標」を設定する必要があります。中学校の成績、定期テストの結果や授業への取り組み方、家庭学習の進め方など、より具体的な「目標」が必要になってきます。

「目的」と「目標」の違いについて、何となく理解できましたか？

では、「目的」と「目標」について、どちらをより大切にするとよいと思いますか？

私は「目標」だと考えています。

それは、「目標」が無いと、どうなってしまうかを考えてみると分かりやすいと思います。「目標」が無いということは、具体的に何を実行すればよいのかが決まっていないということです。「何をどうすればよいのか」ということを考えていないので、「目的」を達成するための具体的な行動ができないからです。

これから自分の人生を築いていく皆さんにとって必要なことは、最終的なゴールである「目的」を定めることと、その「目的」に到達するための「目標」を設定することが大切なのです。

明日からの長い夏休み中に、将来に向けて行っていく、自分の活動や取組の「目的」を考えてみてください。遠い将来のことだけでなくても良いです。体育祭に向けた活動の「目的」や合唱祭に向けた活動の「目的」、高校進学に向けた取組の「目的」、部活動の「目的」などでも良いです。

そして、「目的」を定めたら、その達成に向けてどんなことをしていけばよいかを考えて、少しずつ「目的」に近づけるよう、具体的な「目標」をできるだけたくさん立ててみてください。これは、私から皆さんへの夏休みの宿題です。